

平成 28 年度第 1 回南区地域包括ケア推進会議 議事要旨

- 1 日時 平成 28 年 8 月 4 日（水） 14:00～16:00
- 2 会場 南区役所本館 2F 大会議室
- 3 出席者 別紙のとおり
- 4 次第

1	開会
2	南区保健福祉センター所長あいさつ
3	委員自己紹介・事務局紹介
4	地域包括ケアシステムにおける本会議の位置づけについて
5	議事
	【議題1】南区保健福祉センターにおける高齢者の保健福祉に関する取り組み... 資料1
	【議題2】地域ケア会議の開催状況及び平成 28 年度開催スケジュール..... 資料2-1,2
	【議題3】抽出された課題及び解決に向けた検討
	・各専門部会の報告..... 資料3-1,2,3
	・身寄りがない(親族の関わりがない)高齢者への支援について

5 会議経過

【議題1】南区保健福祉センターにおける高齢者の保健福祉に関する取り組み 資料1

・資料に基づき事務局が説明

会長	いきいきセンターが増えたことで何か変化があるか。
事務局	増設当初は、担当替えなどがあり、ご不便をおかけした面もあると思うが、相談の延件数が増えたり、相談方法として訪問、来所の割合が若干であるが増えていることから、センターの存在が身近になったものと考えている。
会長	介護保険に関する相談はどんな内容か。
事務局	手続きやサービス内容、窓口に関するお問い合わせが多い。
会長	徘徊高齢者等ネットワークに登録している事業者はどんなところか。
事務局	事業者は多様である。福祉関連の事業者はもちろん幅広い事業者に登録いただいている。
会長	コンビニも入っているか。
事務局	入っていただいている。

【議題2】地域ケア会議の開催状況及び平成 28 年度開催スケジュール 資料2-1,2

・資料に基づき事務局が説明

会長	今後、会議の開催回数は増えるのか。
事務局	今後は、個別支援会議の回数を増やし、そこで出てきた課題を圏域連携会議等に上げていきたい。

会長	それぞれの会議の参加者はどのくらいか
事務局	個別支援会議は関係者が中心なので小規模だが、圏域連携会議の場合は 50～60 名。南区は、医療・介護の関係者が特に熱心であると思う。

【議題3】抽出された課題及び解決に向けた検討

●各部会からの報告 【在宅医療・介護部会】

- ・資料に基づき事務局が説明

※部会の参加団体から補足コメント

委員	退院時連携にかかわりたいと考えている。退院の手引きを入手希望。
委員	訪問診療用機材の説明会をこれまで3回開催した。国はこの機材に対し通常の機器とは違う基準を設けているため、使いにくい。自分で購入しないと使えるようにはならないと思う。一般開業医はめったに訪問診療を行わない。訪問診療が95%以上という基準は非現実的である。
委員	ブロック支援病院について補足しておきたい。在宅医療において容体が急変した時は一時的に基幹病院で受けるが、その後の入院の受け皿として設けようとしているもの。また認知症診療ネットワークには一般医も加わってほしいと考えている。
委員	権利擁護に関することで困難に直面することが多い。いろいろな団体との連携が必須と考えている。主任CMの横の連携を進め、スキルアップを図っていききたい。
会長	南区介護支援専門員連絡協議会は何人ぐらいの組織か
委員	200人ほど。南区内のほとんどのCMが参加している。南区は特に盛んな印象である。
委員	退院時のさまざまな状況への対応について統一的な見解をまとめる予定である。また、南区ソーシャルワーカー連絡協議会を8月に発足させるが、南区内のすべての病院が参加する見通しである。
委員	南区訪問介護ステーション協議会を設立して1年が経過した。医師との連携が非常に重要であることを改めて認識している。訪問看護ステーションは次々に開業しているが、必須条件ともいえる24時間体制の確立についてはまだまだである。ステーションのレベルを上げていきたい。
委員	補足して情報提供したい。「健康サポート薬局」となるために地域との連携が必要になっている。今年は薬剤師による健康フェアを長住で開催する予定である。詳細が決まり次第ご案内する。

●各部会からの報告【権利擁護部会】

- ・資料に基づき権利擁護部会長が説明

・部会委員より補足

委員	各団体の委員間の顔の見える関係づくりを進めたい。また、身寄りのない高齢者への支援については重要な課題であるため、各団体間で連携・協力したいと考えている。
----	--

特に質問なし

●各部会からの報告【生活支援・介護予防部会】

・資料に基づき事務局が説明

会長	なぜ部会に理学療法士会を加えたのか
事務局	地域で転倒予防教室を開催されるなど、介護予防の面でつながりが大きいと考えたもの。
会長	南区に組織があるのか？
事務局	南区の組織はなく、県の理学療法士会の南区担当の理学療法士を部会委員に推薦していただいた。なお、推進リーダーとして、南区で介護予防推進リーダーが15名、地域包括ケア推進リーダーが16名いると聞いている。
会長	理学療法士や作業療法士は今後多くなっていく。組織化されればぜひ一緒にやっていきたい。
委員	社会福祉法の改正により、老人福祉施設を運営する法人には公益的活動を行う責務が課せられることとなった。協議会としては地域で困っている人を支援することが公益的活動と考えている。これまでは地域活動に参加したりホームが地域住民も参加できるような祭りを開催したりという地域貢献活動を行っていたが、それだけでは公益的活動とは言えないと思っている。互助・共助として今後関わりたい。
事務局	次回の生活支援・介護予防部会には貴団体にご参加いただきたいと考えている。

●身寄りがない（親族の関わりがない）高齢者への支援について

事務局	3つの部会に共通する課題であることから、ひとまず各部会で検討しその結果を本会議に上げることとしたい。
会長	事務局説明のとおり、各部会において検討されたい。

会議終了